

# 平成維新を実現する都民の会第27回運営会議議事録

※敬称略(記録・文責:杉原健児)

【日時】1997年9月4日(木)18:40~21:10。

【会場】新宿区立リサイクルセンター4階。

【出席】阿部悠逸・板橋光紀・浦上登・江頭清昌・小俣一郎・神村知行・小枝尚・小田武史・梶原光恵・近藤珠甲・笹本弘子・佐藤鶴次郎・澤井正治・白瀬武美・杉原健児・門叶和雄・長妻昭・長谷川文昭・治田桂四郎・藤懸義久・三浦勉、21名。

【委任状出席】河登一郎・峰岸秀充・望月忠雄・山崎康彦。

【配付資料】

- 1)運営会議議案他(治田)
- 2)平成維新東京・活動方針案(治田)
- 3)平成維新東京拡大副代表会議議事メモ(杉原)
- 4)全国協議会との関係について(山本竜司)
- 5)第6回全国協議会議事録(治田)
- 6)会員更新表(神村)
- 7)8/24日の集まりをより発展させて(佐藤)

【回覧資料】

いしん埼玉市民の会会報/平成維新千葉B.T./  
維新プレスKANAGAWA/いっしんKOBE/東海平成  
市民の会会報/大前研一通信(杉原)

【議事】(議長:小枝)

- 【1】治田代表から挨拶があった。
- 【2】出席者全員の簡単な自己紹介があった。
- 【3】前回議事録が確認され原案通り承認された。
- 【4】江頭前代表への「感謝状」は、平成維新東京有志:代表・副代表連名で出すことを決めた。
- 【5】前回提案された「選挙候補者推薦基準案」を検討した結果、原案を一部修正して下記のように決まった。

---(始まり)-----

【選挙候補者推薦基準】

我々は、以下の様な候補者を推薦し、政治の場へ送り出す事、及び当選後は「協定した政策」の実現に向けて総力を挙げて協力する事を約束します。

(1)候補者は、強い信念と高い志を持ち、国民・市民全体の奉仕者であり、個別利害の代表者であってはならない。

(2)自らの政策や政治活動を、金銭の出納を含め、定期的に当会に報告するものとする。

(3)候補者が、当会と交わした「政策協定」に違反したり、推薦基準に適合しない行為を繰り返した場合は当会はその推薦を取り消し、公職を辞職する事

を勧告する。

----- (終わり) -----

【6】前項に関連して、推薦候補者には会として正式の「為書」「証書」「証明書」を出すことを決めた。

【7】首都圏市民会議事務局に、山崎氏・澤井氏に加え、梶原氏に追加就任頂くことを決めた。

【8】全国協議会関係の対応について協議した結果「客観的経緯と会の見解」を「会報」と「電子会議室」に掲載することとした。

続いて、山本竜司氏が作成した「経緯と見解文(案)」について検討した結果、概ねの趣旨に異存はないので、本日の意見を踏まえ、最終文案は副代表会議に一任することとした。

【9】治田代表より、前回の修正版としての「活動方針案」について説明があり、討議した。各種要望事項や文面について幾つかの対案も出されたが、最終的には、会員の選挙で選出された代表の専決事項であることから、代表一任とした。

【10】治田代表より「会員拡大用パンフレット」製作についての提案が出され、討議した結果、次の副代表かいぎで内容をつめることとした。

【11】各エリアマネージャーから、各区の活動状況の報告があった。

【12】ボランティア委員長の長谷川氏より、9月7日竜ヶ崎で「ダイオキシンフォーラム」の案内があった。

【13】経理担当の神村氏より、会員減少による財政逼迫の可能性の懸念が報告された。それに伴い、江頭氏より、会員の更新率を上げるための方策についての私案が披露された。

【14】浦上氏から、現在取り組んでいる「郵便事業の民営化」に関連した事業に専念したいので、本会を当分の間退会したい、との丁重な挨拶があった。氏の取り組んでいる事業は、平成維新実現に向けての民間企業からのアプローチである。

【15】初めて出席の方3名の自己紹介があった。

【16】9月8日の「情報公開法をめぐる市民討論会」と、9月13日の「行財政改革と公会計制度シンポジウム」への参加要請があった。

【次回】第28回運営会議は、1997年10月6日(月)18:30~21:00。新宿リサイクルセンター。